

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0402	政策名	参画・協働のまちづくり	施策主管課	地域づくり課	課長名	菊池 司
政策の目指す姿	お互いを尊重し、持っている特性と能力を活かし合い、まちづくりを行っています						
施策No	03	施策名	男女共同参画の浸透	関係課名			
施策の目指す姿	男女が対等なパートナーとしてお互いを尊重しています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画への理解や各種審議会委員等に占める女性の割合が不十分です。 ・男女の平等が図られていると感じる市民の割合が4割程度(市民アンケート)にとどまっています。 ・地域における男女共同参画の円滑な推進のために、男女を問わず、男女共同参画推進員の人材確保が必要になっています。 							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・研修や講演会は、より多くの市民に関心を持ってもらえるよう、講師の人選、開催日、時間など企画や周知の方法を工夫する。 ・地域の方に県の男女共同参画サポーター養成講座を積極的に受講してもらえるよう働きかけ、受講した方に推進員をお願いする。 ・LGBT(性的マイノリティー)の理解促進のための職員研修及び市民向けのセミナーを開催する。 ・「審議会等の設置及び運営に関するガイドライン」を庁内周知するとともに、女性が委員に推薦されやすい団体を構成団体とすることや、公募委員の募集を積極的に行うことなどを検討しながら、女性の登用に積極的に取り組んでいく。
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーや学習講座を日曜日や平日の夜に開催するなど、市民が参加しやすいよう配慮した。 ・地域の方を含め男女共同参画サポーター養成講座への受講を働きかけ、4人が受講し3人が認定を受けた。うち1人が令和2年度に男女共同参画推進員に就任した。 ・LGBT(性的マイノリティー)の理解促進のための職員研修を開催した。また、女性団体ネットワークの会と共催で開催した市民のつどいにおいてLGBTをテーマとして講演会を行った。 ・審議会委員の女性割合は年々高くなっているものの、構成する団体の組織事情もあることから、目標値に達するにはまだ難しい状況にある。公募委員の募集を積極的に行っていくことにも取り組んでいくこととしたい。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)男女共同参画の推進
<p>男女共同参画に関する情報提供、相談機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市広報及びHP等における情報提供 ・法律に基づく育児休暇、介護休暇の取得推進 ・男女共同参画学習講座、事業者向けワーク・ライフ・バランス・セミナー <p>審議会等への女性の登用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会等ガイドラインの周知 ・市民・企業等を対象とした意識啓発の講座や講演会・ワークショップ等の開催 ・DV防止について考えるセミナー、出前講座、サポーター養成講座等参加支援 <p>LGBT(性的マイノリティー)の理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修及び市民向け講演会(市民のつどい共催)

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
職場や学校、地域など身のまわりで男女の平等が図られていると感じる市民の割合	市民が日常生活において、男女の平等が図られていると感じる市民の割合を測る指標として設定する。	出典：市民アンケート 問：あなたは職場や学校、地域など、あなたの身のまわりで男女の平等が図られていると思いますか？ (1)そう思う (2)どちらかというと思う (3)そう思わない (4)どちらかというと思う (5)わからない (1)(2)と答えた市民の割合	%	目標値		50.00	50.00	50.00		
				実績値		46.10	41.70	47.60		
審議会等委員に占める女性の割合	市政に関する市民の意見を反映することなどを目的に設置される審議会等に、女性がどれくらい参画しているかを測る指標	法律または条令により設置された附属機関及び法律、条令の規定に基づかず、市政に関する市民の意見を反映すること等を目的として要綱等により設置された私的諮問機関の毎年4月1日時点での女性の占める割合を算出	%	目標値		35.00	35.00	35.00		
				実績値		28.10	28.80	31.40		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>成果指標「職場や学校、地域など身のまわりで男女の平等が図られていると感じる市民の割合」・・・【達成度 b】 男女の平等が図られていると感じる市民の割合は、全体で47.6%で男性で53.9%、女性で41.1%、年代別でみると、15歳から19歳で73.7%と最も高く、最も低いのが30歳から39歳で35.6%となっている。男女間、年代別で差が見られるものの、全体では、目標の値に迫る割合となっていることから、一定の効果があったものと思料される。</p> <p>成果指標「審議会委員等に占める女性の割合」・・・【達成度 c】 条例等で委員を職指定する規定があることや登用する分野に女性の専門家が少ない、団体推薦の場合に団体が推薦し得るポストに女性が就任していないことが、目標値の達成を難しくしている要因と考えられる。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> ・（男女共同参画推進事業）市民への周知及び意識啓発をさらに図るため、講座やセミナー等の内容について、より多くの市民に関心を持ってもらえるようなテーマを設定していくとともに、広報紙等による情報発信を継続して実施する。 ・（男女共同参画推進事業）審議会等の女性割合は、年々高くなっているものの、目標値には達していない状況であることから、対策を講じる必要がある。
新たに取り組むべき事業はないか
・なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・市民向けの学習講座や講演会への多くの市民に関心を持ってもらうため、開催方法に工夫が必要である。 ・地域に密着した男女共同参画推進の要である推進員の人材育成が引き続き必要である。 ・審議会委員等に占める女性の割合が伸び悩んでいるため、対策が必要である。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・研修や講演会は、より多くの市民に関心を持ってもらえるよう、WEB開催等の検討も行う。 ・地域の方に県の男女共同参画サポーター養成講座を積極的に受講してもらえるよう、引き続き財政的支援を行う。 ・審議会等の設置及び運営に関するガイドラインの周知徹底を行うとともに、各種審議会等の目的に関わりのある活動を女性が主体となって行っている団体を構成団体とすることや公募委員の募集を積極的に行うことなどを検討しながら、女性の登用に積極的に取り組んでいく。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	男女共同参画推進事業費	地域づくり	一致	直結	C
	男女共同参画学習講座、DV防止セミナー、ワーク・ライフ・バランスセミナー、LGBT研修、出前講座等の開催（12回）			A	
011	男女共同参画推進事業費	地域づくり	一致	直結	C
	広報等による情報の提供（広報はなまき、市HP掲載回数 28回）			A	
012	男女共同参画推進事業費	地域づくり	一致	間接・補完	C
	基本計画に関する施策の基本的事項や重要事項を調査審議する男女共同参画審議会を開催（1回）			B	
013	男女共同参画推進事業費	地域づくり	一致	直結	C
	男女共同参画社会の実現に向けた活動を推進する花巻市地域婦人団体協議会への補助金交付（補助額 700千円）			A	